

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	244	学校名	仙台市立根白石中学校	校長名	東 貴彦
------	-----	-----	------------	-----	------

1 取組のタイトル、テーマ
「日常の学校教育活動における環境活動」



2 取組の紹介

① 学校梅園での梅の実収穫

本校では、特色ある教育活動として、6月に学校敷地内にある梅林に実った梅を全校生徒で収穫しています。収穫した梅は保護者や地域の方にお譲りしています。



② 野外活動における環境学習

2年生の野外活動では、気仙沼・唐桑半島で活動するNPO法人「森は海の恋人」を訪問し、豊かな自然環境の中で人と自然のつながりを体験的に学習できるプログラムに参加し、海と陸が相互に関連している自然環境について学びを深めています。



③ 全校奉仕作業（除草作業）

P T Aの総務研修委員会が主催して、年に2回、全校生徒と教職員、保護者が参加して校地内の清掃・除草活動を行っています。本校の良さは、地域の行事に生徒や保護者が積極的に参加するところで、学校環境の美化や保全につながっています。



④ ペットボトルキャップ回収活動

世界中の子供たちにポリオワクチンを届けようということからペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。今年度は、各教室に回収ボックスを設置して、より多く回収しようと取り組んでいます。回収したキャップは、J Aにお願いをして、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付しています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

自然環境に恵まれ、普段自分を取り巻く自然環境を意識することが少ない生徒たちですが、それぞれの活動を通して、生徒自身が環境問題に対する理解を深め、自ら考え、解決に向けて行動する資質や能力を高めることができたと感じています。特に、②の野外活動における環境学習では、身近ではない海の環境を知り、その環境を維持・保全するために取り組んでいる人々の活動から多くのことを学ぶ良い機会になったと思います。また、④のペットボトルキャップ回収活動は継続して取り組んでいる活動ですが、毎年執行部から提案があり、意識を新たにしながら取り組むことにより、継続することの大切さを理解します。

今後も、これらの取組を通して、持続可能な社会の実現について意識を高めたいと思います。